

「気候変動適応における広域アクションプラン事例集」の改定・公表について


令和7年3月6日

関東地方環境事務所 環境対策課
(気候変動適応関東広域協議会事務局)

気候変動適応関東広域協議会の活動経緯

気候変動適応法
H30.12施行

気候変動適応法
R6.4改正

事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域適応 コンソーシアム事業 (平成29年度～令和元年度)	全国で53の調査及び普及啓発活動を実施 < 関東地域では以下の7調査を実施 > 夏季の高温・少雨による茶栽培への影響調査(静岡県) 降水量の増加と社会経済状況の変化を考慮した 都市圏の内水氾濫リスク評価(埼玉県) 気候変動による印旛沼とその流域への影響と 流域管理方法の検討(千葉県) 気候変動による節足動物媒介感染症リスク の評価(神奈川県) 熱中症リスクの評価手法の整理・構築(さいたま市) 気候変動による高山・亜高山生態系への 影響調査(群馬県) 気候変動による湿地環境への影響調査(新潟市)			 <p>地域適応 コンソーシアム事業成果集 Final Report of Regional Adaptation Consortium Project</p>				
気候変動適応における 広域アクションプラン策定事業 (令和2年度～令和4年度)				全国で21のアクションプラン等を策定 < 関東地域では以下の2つのアクションプランと 課題ノウハウ集及び事例集を作成 > 暑熱対策に係る気候変動適応アクションプラン 災害対策に係る気候変動適応アクションプラン 地域気候変動適応計画策定に向けた課題・ノウハウ集 及び事例集				
気候変動適応 地域づくり推進事業関東地域 (令和5～6年度)						適応策の実装を支援 熱中症対策分科会活動：暑熱対策に係る試行事業(型・ 型試行の実施と課題の整理 災害時孤立対策分科会活動：災害時孤立対策ビジョンの作成と課題の整理		

R6 年度熱中症対策分科会 試行実施の概要（携帯型試行、設置型試行の位置づけ）

◆ アクションプラン実装支援（熱中症対策）との連携

以下のような作業を実施しつつ、適応策のアクションプランの実装を目指す

- 地域気候変動適応計画へ適応策としての反映（影響評価とペア）【制度としての実装】
- 庁内体制の整備、連絡会等の創設・運営（適応策の検討）【体制としての実装】
- 適応策の実施（適応アクションプランを参考に実施）及び評価【対策としての実装】
- 課題・ノウハウ等を既存アクションプランへの反映（実装編）、協議会報告や普及啓発セミナーでの発表

気候変動適応計画へ適応策としての反映

庁内体制の整備、連絡会等の創設・運営



実装

実装

適応策の実施（適応アクションプランを参考に実施）及び評価

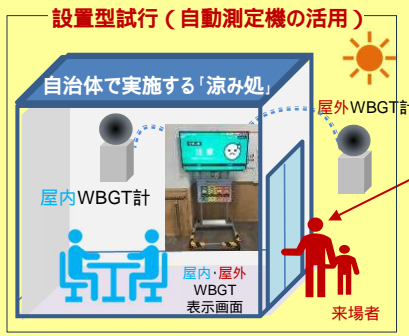
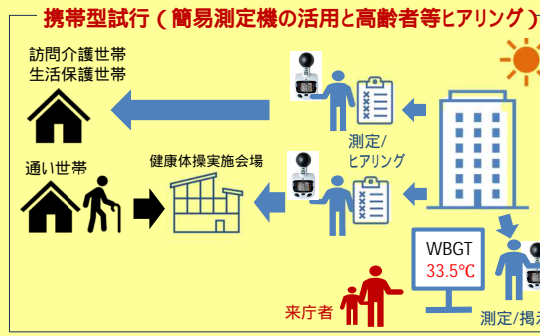


表 3-1 各ターゲットと適応アクション

ターゲット	リスク	シナリオ	適応アクションのテーマ	適応アクションの具体例	
高齢者等 (一人暮らしの方)	日中・昼間	外出中	1-1	危険度の適切な伝達と行動実習を促す	1-1A 暑熱環境や熱中症リスクの可視化による啓発 1-1B 民間企業・庁内関係部署との連携による普及啓発
			1-2	夜間に生じる高齢者の熱中症発生を防ぐ	1-2A 1日7時間による適切な室内環境の整備に向けた支援実施 1-2B 地域の特性・状況に応じた普及啓発の実施
			1-3	地域や個人の特性に応じたピンポイント対策	1-3A 身体の高齢者能力向上に向けた能力トレーニング啓発 1-3B 地域特性・状況に応じた普及啓発の実施 1-3C リスクの高い高齢者に向けたピンポイント対策の実施
農作業等	日中・昼間	仕事場	2-1	農作業等の暑熱環境改善	2-1A 熱中症対策セミナーを通じた暑熱環境改善の取組
			3-1	建設作業員の暑熱環境改善	3-1A 建設現場における熱中症対策の導入および実施
若年者～高齢者 (屋内での活動中の人)	運動中	運動施設（屋内外）	4-1	運動施設、まちなかでの場合別の対策	4-1A 高齢者・小学生・幼児向け熱中症予防グッズ配布事業 4-1B 運動公園への日陰創出 4-1C 熱中症警戒アラートの活用 4-1D クーリングシェルター（まちなかオアシス）の設置
			5-1	イベント時の熱中症を防ぐ	5-1A イベント当日における熱中症対策の検討・実施 5-1B イベント開催時期の変更による暑熱回避
			6-1	モニタリングシステムの活用及びガイドラインの作成	6-1A 幼児向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動 6-1B 小学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動 6-1C 中学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動 6-1D 補助計を用いた熱中症リスクの可視化
			7-1	暑中の熱中症事故を防ぐ	7-1A 暑熱と連携した普及啓発活動 7-1B 関係団体・商業施設と連携した普及啓発活動
その他	分野横断的な取組	その他	地域適応センターを活用した情報集約・提供の仕組み	その他A データ収集・対策促進の自治体間連携	

設置型試行所によりターゲットが異なる

R6 年度改訂の概要

改訂の概要：適応アクションの追加と適応アクション実践における課題と対策案

< R2-4年度作成（公表済） >

表 3-1 各ターゲットと適応アクション

ターゲット	リスク	シナリオ	適応アクションのテーマ	適応アクションの具体例	
高齢者等 (一人暮らしの方)	日中・昼間	外出中	1-1	危険度の適切な伝達と行動実習を促す	1-1A 暑熱環境や熱中症リスクの可視化による啓発 1-1B 民間企業・庁内関係部署との連携による普及啓発
			1-2	夜間に生じる高齢者の熱中症発生を防ぐ	1-2A 1日7時間による適切な室内環境の整備に向けた支援実施 1-2B 地域の特性・状況に応じた普及啓発の実施
			1-3	地域や個人の特性に応じたピンポイント対策	1-3A 身体の高齢者能力向上に向けた能力トレーニング啓発 1-3B 地域特性・状況に応じた普及啓発の実施 1-3C リスクの高い高齢者に向けたピンポイント対策の実施
農作業等	日中・昼間	仕事場	2-1	農作業等の暑熱環境改善	2-1A 熱中症対策セミナーを通じた暑熱環境改善の取組
			3-1	建設作業員の暑熱環境改善	3-1A 建設現場における熱中症対策の導入および実施
若年者～高齢者 (屋内での活動中の人)	運動中	運動施設（屋内外）	4-1	運動施設、まちなかでの場合別の対策	4-1A 高齢者・小学生・幼児向け熱中症予防グッズ配布事業 4-1B 運動公園への日陰創出 4-1C 熱中症警戒アラートの活用 4-1D クーリングシェルター（まちなかオアシス）の設置
			5-1	イベント時の熱中症を防ぐ	5-1A イベント当日における熱中症対策の検討・実施 5-1B イベント開催時期の変更による暑熱回避
			6-1	モニタリングシステムの活用及びガイドラインの作成	6-1A 幼児向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動 6-1B 小学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動 6-1C 中学生向けガイドラインによる熱中症予防・回避行動 6-1D 補助計を用いた熱中症リスクの可視化
			7-1	暑中の熱中症事故を防ぐ	7-1A 暑熱と連携した普及啓発活動 7-1B 関係団体・商業施設と連携した普及啓発活動
その他	分野横断的な取組	その他	地域適応センターを活用した情報集約・提供の仕組み	その他A データ収集・対策促進の自治体間連携	

R5-6年度試行事業

適応アクションの追加

- 追加 - デジタルサイネージを活用した啓発
- 追加 - 配送員等の暑熱対策改善
- 追加 - 体育館や校庭等へのドライミスト設置
- 追加 - 保育園・学校等へのフラクタル日よけの設置
- 追加 涼み処の事例 他ターゲットにも活用可能

適応アクション実践における課題と対策案

< 携帯型試行 >

- 小田原市 簡易WBGT計による計測について
- 1 所沢市 生活保護者世帯等へのエアコン等の使用実態等調査
- 2 上野村 要介護・要支援者世帯等の同様の調査

< 設置型試行 >

- 所沢市 施設内外のWBGT詳細計測・見える化と意識調査
- 開成町 施設内外のWBGT詳細計測・見える化と意識調査

令和5 - 6年度試行活動の目的

◆ アクションプラン実装支援（災害時孤立対策）との連携

以下のような作業を実施しつつ、適応策の実装を目指す。

地域気候変動適応計画へ適応策としての反映（影響評価とペア）

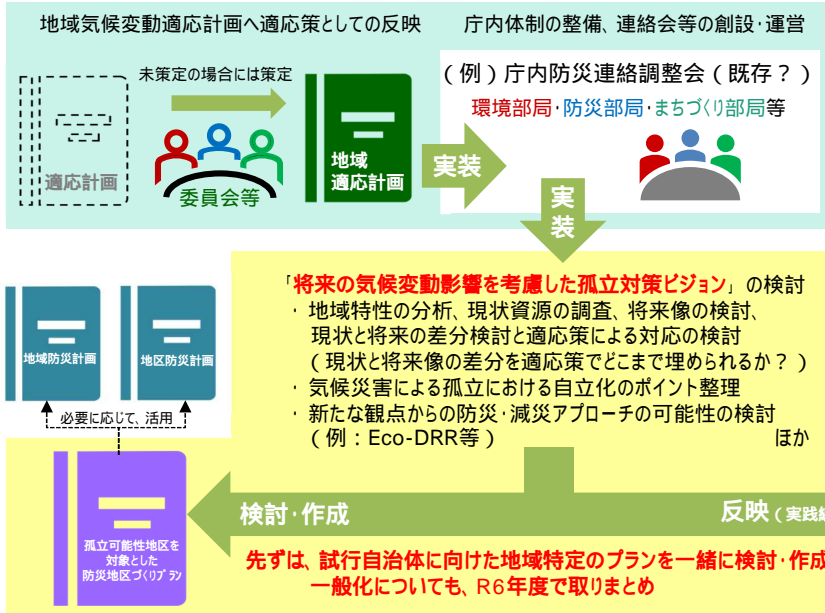
庁内体制の整備、連絡会等の創設・運営（適応策の検討）

アクションプランを参考に「**将来の気候変動影響を考慮した孤立対策ビジョン**」の検討 【特定プランの検討・実装】

課題・ノウハウ等を既存アクションプランへ反映（実装編）、協議会報告や普及啓発セミナーでの発表

【制度としての実装】

【体制としての実装】



適応アクションのテーマ		自動	共助	公助	農村	漁村	都市
電気	A-1 次世代自動車による電力供給	○	○	○	○	○	○
	A-2 地域マイクログリッドによる災害時停電「ゼロ」	△	○	○	○	○	○
	A-3 ZEHによる減災×省エネ	○	○	○	○	○	○
熱・ガス	B-1 森林資源の災害時活用	○	○	△	○	○	-
	B-2 コージェネによる熱の確保	○	○	○	○	○	○
水道	C-1 雨水の災害時活用	○	○	○	○	○	○
	C-2 井戸水の災害時活用	○	○	○	○	○	○
	C-3 空気から水を創る空気製水機	○	○	○	○	○	○
情報通信	D-1 シェアリングで災害時もつながる	○	○	○	○	○	○
	D-2 ドローンや船舶を活用した通信の確保	-	○	△	○	○	○
医療等	E-1 ドローンによる物流の維持	○	○	○	○	○	△
	E-2 オンライン診療の災害時活用	○	○	○	○	○	○
廃棄物・トイレ	F-1 災害廃棄物への事前の備え	△	○	○	○	○	○
	F-2 災害時のトイレ確保	○	○	○	○	○	○
その他	G-1 既存施設の防災機能強化	-	○	○	○	○	○

○ … 取り組みやすい △ … 取り組むことが可能 - … 取り組みにくい
(いずれも事務局の判断による)

R6年度改訂の概要

改訂の概要：適応アクションの追加と適応アクション実践における課題と対策案

<R2-4年度作成（公表済）>

適応アクションのテーマ		自動	共助	公助	農村	漁村	都市
電気	A-1 次世代自動車による電力供給	○	○	○	○	○	○
	A-2 地域マイクログリッドによる災害時停電「ゼロ」	△	○	○	○	○	○
	A-3 ZEHによる減災×省エネ	○	○	○	○	○	○
熱・ガス	B-1 森林資源の災害時活用	○	○	△	○	○	-
	B-2 コージェネによる熱の確保	○	○	○	○	○	○
水道	C-1 雨水の災害時活用	○	○	○	○	○	○
	C-2 井戸水の災害時活用	○	○	○	○	○	○
	C-3 空気から水を創る空気製水機	○	○	○	○	○	○
情報通信	D-1 シェアリングで災害時もつながる	○	○	○	○	○	○
	D-2 ドローンや船舶を活用した通信の確保	-	○	△	○	○	○
医療等	E-1 ドローンによる物流の維持	○	○	○	○	○	△
	E-2 オンライン診療の災害時活用	○	○	○	○	○	○
廃棄物・トイレ	F-1 災害廃棄物への事前の備え	△	○	○	○	○	○
	F-2 災害時のトイレ確保	○	○	○	○	○	○
その他	G-1 既存施設の防災機能強化	-	○	○	○	○	○

○ … 取り組みやすい △ … 取り組むことが可能 - … 取り組みにくい
(いずれも事務局の判断による)

R5-6年度試行事業

資料7

適応アクションの追加

更新【電気】	A-2	地域マイクログリッドによる災害時停電「ゼロ」
新規【電気】	A-4	塩水から電気を創る発電機
新規【熱・ガス】	B-3	災害時にも活用できる雪氷熱
新規【水道】	C-4	入浴、手洗いに再生水を用いる
更新【医療等】	E-1	ドローンによる物流の維持

適応アクション実践における課題と対策案

・（気象災害）災害時に孤立する可能性の高い地区（沿岸の漁村地区、中山間地区の農村地区、都市域の高層マンション群地区）を対象として、適応アクションの実装の可能性を検討した

漁村地区：伊豆市土肥地区災害時孤立対策ビジョンの作成にあたっての課題や対策案を整理した上で、千葉県いすみ市へヒアリングを実施

農村地区：をもとに群馬県上野村へのヒアリング

高層マンション群地区：高層マンションにも有効と思われる適応アクションの検討

